



発行
久留米市小森野1-1-1
久留米工業高等専門学校内
同窓会久留米工業会本部
電話 (0942) 39-2743
同窓会ホームページ
https://komorinokai.jimdo.com/
同窓会事務局メールアドレス
komorinokai@h2.dion.ne.jp

卒業式に参列して

同窓会久留米工業会 会長 伊藤 絹子
(工業化学科 第十三回卒業)

新緑の若葉が鮮やかな季節となりました。同窓会会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、去る三月十七日(木)、令和三年度久留米工業高等専門学校の卒業式ならびに専攻科の修了式が挙行され、本科生二〇九名、専攻科生三十三名、合計二百四十二名の卒業生が大きな希望を胸に巣立っていきました。

令和元年度、令和二年度の卒業式は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、列席出来ませんでした。今年度は二年ぶりに列席し、祝辞はありませんでした。卒業生を見送ることが出来ました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんはこれまで、久留米高専で多くの学びと体験をされました。この二年間は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、登校や対面授業が困難な時期もあり、不安や不自由な生活の中でストレスを感じることが多かったことでしょう。

皆さんが卒業を迎えることが出来たのはこれまで育て、お世話してくださった親や家族、先生や周りの人の支えや関わりがあったおかげだということをお忘れではありません。

これからもいろいろなことがあると思います。順調に行くことばかりではありません。つらいこともあるでしょう。しかし、体験して無駄になることはありません。何でもプラスにしてください。

私たちは一人では生きていきません。周りのいろんな人たちと関わり、支え合って生きています。卒業後はそれぞれの道へ旅立られますが、自分の夢に向かって進んでほしいと思います。

東京パラリンピック陸上女子マラソンの金メダリスト道下美里選手の講演会で、夢を叶えるために何が大切かという質問がありました。道下選手は①具体的な目標をもつこと②諦めないこと③感謝の心をもつこと、という三つを教えてくださいました。

校長就任のご挨拶

久留米工業高等専門学校長 松村 晶

本年四月一日に本庄春雄先生の後任として久留米高専の校長に就任いたしました。私の前職は、九州大学工学研究院エネルギー量子工学部門の教授でした。工学部・エネルギー科学科と申した方がご理解し易いかもしれません。専門

卒業生の皆さん、これからも自分を大切に、他の人のことも大切に、感謝の心を忘れず、夢に向かって大きく羽ばたいてください。

卒業式終了後、同窓会久留米工業会福岡支部と関西支部より卒業生へお祝いのメッセージと品物を手渡しし、同窓会支部のPRがされました。

最後になりましたが、同窓会では新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、なかなか大同窓会が開催出来ず延期となっております。コロナ禍の中、状況を見ながら判断し、出来ることから始めていくしかないと考えます。今後とも皆様のご支援とご協力をよろしくお願いたします。

は材料物性学で、主として金属・無機材料の相転移やナノ構造物性を先端的な電子顕微鏡で解析するナノ構造科学をやってきました。高専での教育経験がない新米の校長ですが、本校の卒業生・同窓会の皆様方どうぞよろしくお願い申し上げます。

大学での担当学科が応用物理・原子核工学系になるため、高専からの編入生を受け入れた経験はこれまで多くありません。しかし、数少ないながらも、私どもの学科のように高専での専門とは少し違う学科を取って志望してくる学生は強い目的意識を持っていました。

編入前に一般生は履修を終えている「量子力学」や「統計力学」などは少し個別の指導が必要でしたが、勉学への意欲が高くて半年も経過すると通常の学生との差異は感じられなくなりました。

一方、高等学校から大学に入學してきた最近の学生を見ていると、身の回りの科学現象や工学への関心が、目でわかりやすい表層的なものに行きがちで、世間話の重要性と普遍性を少しでも多く感じることが肝要で

回りの工学が、私が若い頃と比べて遥かに複雑で高度になり、情報が多い日常の中でシンプルに観察や体験することが難しくなっているためではないでしょうか。しかし、彼らがこれから歩む将来は、今まで以上に工学の様々な局面で新しい概念や方法によるイノベーションを生み続けていくことが求められています。実践的技術者として実社会で新しい科学・工学を切り拓くには、基礎科学への理解と応用力さらには想像力がますます重要になってきています。高専生は普通高校生と違って、中学卒業後から専門性に関する意識が芽生え、ものづくりや実社会との接点が多いと思います。そのような意識や環境の違いが、同じ年頃の学生の教育や意識の醸成にどのような影響や変化を及ぼしているか、非常に強い関心を抱いています。本校において、若い十五歳からの五年一貫教育に教職員の皆様とともに関わることが出来ることに強い喜びを感じています。

基礎科学の位置付けは科学・工学の発展と共に変わるものであり、従来と同じ既成概念的な内容と方法による教育では、将来も通用するポータブルスキルとも言える基礎科学の素養を育成することは出来ません。現代社会を知って刺激を受けることで、学生が基礎科学の重要性と普遍性を少しでも多く

あり、校長としてそのための機会を可能な限り作りたいと考えています。また自分の専門とは異なる分野への関心と対話・協働もますます重要になってきています。このような現代社会の変化をキャッチするアンテナは、若い学生を指導する立場の教員が感度をより高めておく必要があります。教員が学校の中に閉じこもらずに、自発的な研究や調査を通して、社会で起こっている科学技術の動向を自らいち早く感知する好奇心と向学心を育み、それを日々の高専教育に生かす環境や、学生と一緒に研鑽に励み成長していく意識に満ちた校風を作っていくためには、社会の各方面でご活躍されている卒業生の皆様の息遣いが直接感じられる学校にならねばなりません。

同窓生の皆様におかれましては、今まで以上に母校へご関心を寄せて頂き、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を祈念して就任のご挨拶といたします。



JDLA Deep Learning for ENGINEER
2021#2 (3資格) を取得



機械・電気システム工学専攻二年 吉田 堯史

E資格とは、一般社団法人日本
ディープラーニング協会(JDLA)

が主催する、エンジニア資格試験
です。ディープラーニングの理論
を理解し、適切な手法を選択して
実装する能力や知識を有している
かを認定(JDLA公式サイトよ
り)する資格です。加えて、J
DLA認定講座の修了が受験資格
であるため、東京大学松尾研究室
主催の公開講座「Deep Learning
基礎講座」を修了しました。私は、
普段は機械工学を専攻する学生で

す。その一方で、人工知能に興味
を持っており、松尾研の広報を見
て、専門外の私も挑戦しようと思
い、参加しました。この講座と資
格試験を通して、人工知能のアル
ゴリズムや実装に加え、その先端
研究の現状や、今日までの発展の
歴史の一端まで知ることが出来ま
した。

この資格取得が出来たのは、松
尾研の質の良い講義と課題や、私
の受講を理解して頂いた機械工学
科の原田先生をはじめとする教員
と学生の皆様、とりわけ、課題の
分からない部分を一緒に考えてく
れた同期のおかげです。ありがと
うございます。

これからも、いろいろなことに
興味を持ち、挑戦し続けたいと思
います。

全国高専ラグビー大会

主将(機械工学科五年) 柿野 航輝

この度、久留米高専ラグビー部
は第五十二回全国高専専門学校ラ
グビーフットボール大会に出場し、
準優勝という結果になりました。
全国大会で準優勝に入賞するのは
実に二十一年ぶりとなります。

十一月の九州大会では決勝で部
員数の少ない佐世保に僅差で勝ち
ました。それから何が良かったの
かを検討し、それを練習で克服し
て良い状態で全国大会に臨むこと
が出来ました。そして初戦、二回
戦、準決勝を自分たちの練習して
きたことを出し切って全試合逆転
勝ちすることが出来ました。しかし、
決勝の奈良高専には完敗し、力の

差を見せつけられました。自分た
ちにはまだまだ練習が足りないこ
とが分かりました。後輩たちには
これを機に打倒奈良高専で来年は
全国の頂点を獲ってほしいと思
います。

これらの結果は先生方、コーチ、
OB、OG家族、友人などたくさ
んの人の支えがあったからこそ得
られたのだと思います。大会当
日にはたくさんさんのOB、OGをは
じめ多くの方が会場に来て応援し
てください、私たちにとって大き
な力となりました。

最後になりましたが、日頃より
ご指導、ご支援を頂いている先生



方、OBの方々、学生課をはじめ
とする学校の方々、皆様のお陰で
今年も部活動を行うことが出来ま
した。これからもご期待に添えら
れるよう精進して参ります。あり
がとうございました。

同窓会ホームページ等のご案内

Facebook

https://www.facebook.com/
kurumekosendosokai



同窓会HP

https://komorinokai.jimdo.com/



同窓会メーリング登録のお願い

同窓会では、同窓会開催等のご案内や、支部情報の発信、活性化
等を目的として、メーリングシステムを導入しています。
下記リンクより、ご登録をよろしくお願いたします。(1分で登録)

メーリング登録 <https://komorinokai.net/member>

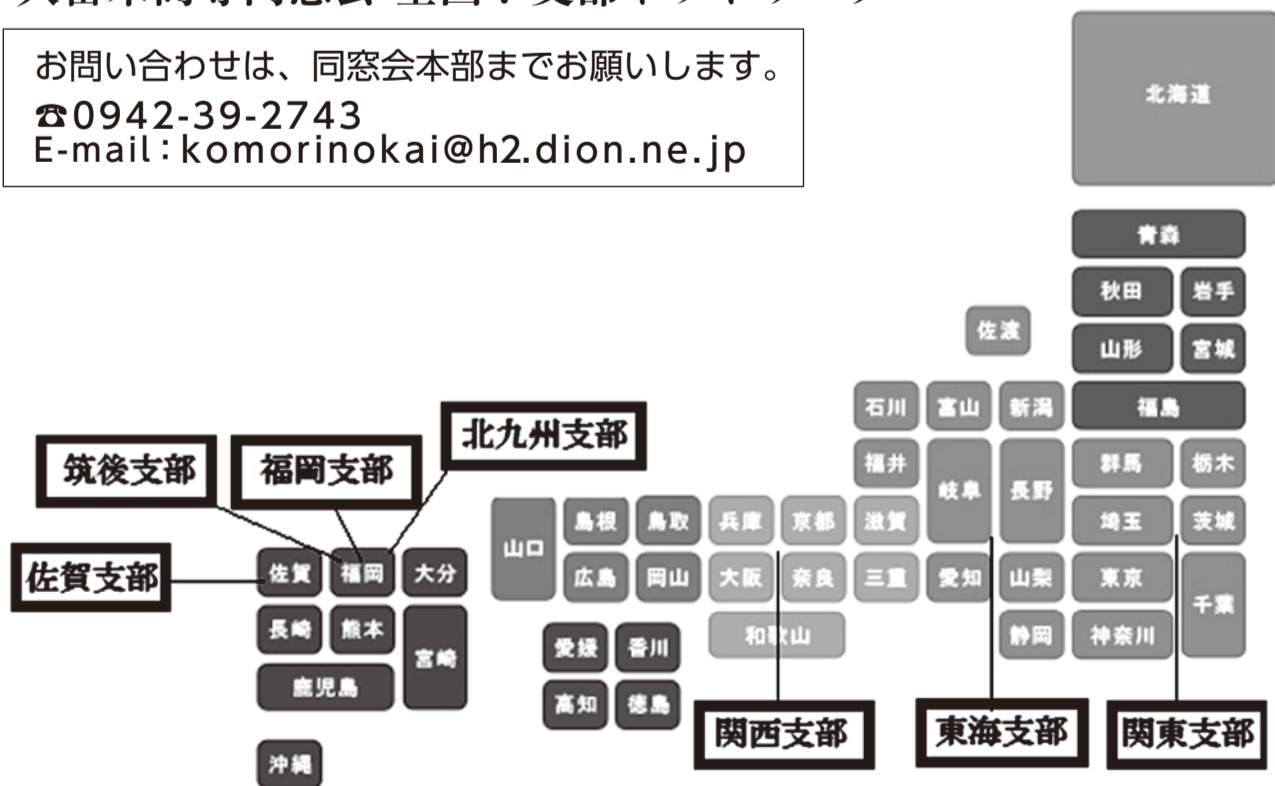
※登録頂いたメールアドレスは、情報発信以外の用途には使用いたしません。



全国支部のご案内

久留米高専同窓会 全国7支部ネットワーク

お問い合わせは、同窓会本部までお願いします。
☎0942-39-2743
E-mail: komorinokai@h2.dion.ne.jp



本校卒業生及び専攻科修了生数

(2022年3月現在)

学科名	人員	専攻科名	人員
機械工学科	49	機械・電気システム工学専攻	21
電気電子工学科	39		
制御情報工学科	44		
生物応用化学科	42	物質工学専攻	12
材料工学科	35		
合計	209	合計	33

令和4年度入学生数

学科名	人員	専攻科名	人員
機械工学科	44	機械・電気システム工学専攻	26
電気電子工学科	42		
制御情報工学科	42		
生物応用化学科	40	物質工学専攻	12
材料システム工学科	43		
合計	211	合計	38